

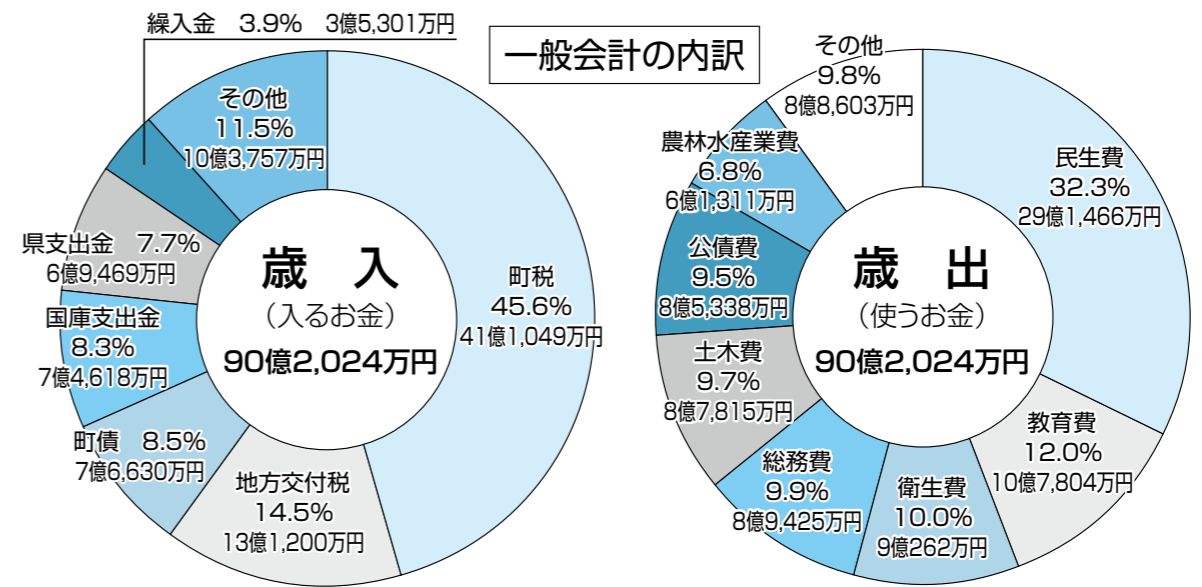
# 「人と緑のホームタウン いなみ」の実現をめざして!

人口減少に歯止めをかけることを最優先課題とし、まちの目標人口 35,000人をめざして様々な施策に総合的に取り組めます。



## 平成25年度当初予算

### 一般会計予算額は90億2,024万円



#### 各会計予算総括表

区分	予算額	対前年伸率
一般会計	90億2,024万円	2.9%
特別会計	77億424万円	3.1%
水道事業会計	8億1,026万円	12.3%
合計	175億3,474万円	3.3%

※1万円未満四捨五入の関係で、積み上げと合計が一致しない場合があります。

#### 用語解説

**地方交付税**  
財政力が弱い自治体でも、福祉や教育などの基本的な行政サービスができるよう国が配分するお金

**町債**  
町の借金。道路や建物など、何十年も使っていく施設の建設費を今後利用する住民にも負担してもらうもの

**公債費**  
借りたお金(町債)を返済していく費用

平成25年度の全会計の予算総額は175億3,474万円で、前年に比べて3.3% (5億6,663万円) の増額となりました。一般会計の予算額は90億2,024万円で、自立支援給付費の伸びや中学校給食施設関連費用などで、前年に比べて2.9% (2億5,009万円) の増額となりました。歳入では町税が法人税・固定資産税・たばこ税の増収により前年度に比べ増額となりましたが、代わりに国からの交付税などが減額となっており、歳出に対する収入の不足を基金の取り崩しで穴埋めする厳しい財政状況は続いています。このような状況の中ですが、福祉、教育、環境などの生活に密着した予算を確保したうえで、人口増加対策事業や中学校給食運営事業など、地域の課題に対応する予算を盛り込みました。

特別会計では、医療や介護にかかるお金が年々多くなっており、特に介護保険が増加しています。また、下水道事業や農業集落排水事業についても、工事費や町債の償還が増加したため、前年度より増加しています。

## 平成25年度主要施策

自然と住環境が調和した安全で快適なまち

・台風時等の集中豪雨に備え地域住民の安全を守るため、国安川2号雨水幹線築造工事を行います。(5,533万円)



▲ 浸水対策工事を行います

・CO<sub>2</sub>排出量の削減、電気料金の抑制を図るため、防犯灯や街灯を5か年計画でLED照明に交換します。

・親元近居新築住宅取得支援補助事業 (1,080万円)

・城ノ池公園整備事業 (2,346万円)

・都市公園施設管理運営委託事業 (3,710万円)

・新エネルギー導入支援事業 (500万円)

・庁舎本館耐震診断等委託事業 (724万円)

・災害時備蓄資機材等設置事業 (602万円)



▶ LED照明に計画的に取り替えます

誰もが健康でいきいきとし、響くまち

・認知症対応型通所介護施設の整備を行う民間法人等に補助金を交付し、地域介護拠点施設の整備を推進します。(1,000万円)

・児童手当支給事業 (5億8,008万円)

・子ども・子育て支援事業計画策定事業 (201万円)

・未熟児養育事業 (222万円)

人とひとの絆を深め、子どもの夢と志を育てるまち

・自校方式での中学校給食を平成26年春から実施するため、施設の整備等を行います。(1億3,662万円)



▲ 中学校給食 (イメージ)

・放課後児童クラブに指定管理者制度を導入し、公設公営化により、児童の健全な育成を図ります。(2,238万円)

・教育振興基本計画策定事業 (54万円)

・心の教育充実事業 (293万円)

・新春万葉マラソン委託事業 (250万円)

・戸籍・住民票等本人通知事業 (461万円)

地域の特性をいかした活力に引きかわいたあるまち

・町内の農業の現状と課題を分析し、農業の振興を図るため、農業振興計画を策定します。(209万円)

・町内の特産品のPRとまちの情報を発信するため、キャベツを使った世界記録に挑戦します。(200万円)

・住宅リフォーム補助事業 (500万円)

・稲美町商品券事業 (1億2,610万円)

・稲美ふれあいまつり事業 (420万円)

住民協働でつくる自立したまち

・議会の情報公開の一環として議会中継システムを設置し、新館ロビーで放映します。(2,107万円)

・まちづくり活動サポート事業 (121万円)

・大学と連携したまちづくり事業 (50万円)